



菊池川流域

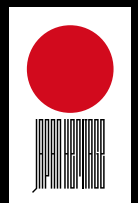
# 米作り、二千年にわたる大地の記憶

シリーズ日本遺産 ⑮

菊池川流域「今昔『水稻』物語」

問い合わせ先  
生涯学習課  
社会教育係

☎ 0968(25)7232



菊池川 日本遺産 検索

①豊前街道の歴史的町並み(山鹿下町周辺)  
②八千代座外観 ③八千代座内観



## 米作りによる豊かな文化③(山鹿湯町)

菊池川流域では、豊かな米をもとにさまざまな文化が花開きました。山鹿湯町の歴史的な町並みや、芝居小屋八千代座もその一つです。

### 山鹿湯町

(豊前街道沿いの歴史的町並み)

山鹿湯町は現在の山鹿市の中心部を指します。町の成り立ちには古く、江戸時代よりはお前、鎌倉時代の終わりごろにはある程度の町の形ができたとされています。そして江戸時代には豊前街道が整備され、菊池川と街道が交差する場所となりました。川岸には「俵ころがし」という米の積み出し所が設けられ、山鹿周辺で作られた米が菊池川の水運で玉名の高瀬に出荷されました。山鹿湯町は人と物が行き交い、とても繁栄しました。

現在も江戸、明治、大正の建物が残り、情緒のある町並みを見せてくれます。また、豊前街道沿いには造り酒屋、麴屋、米せんべい屋など、米に関係するお店が軒を連ね、地元商店街で「米米惣門ツアー」と名付けたガイドツアーが行われています。

### 八千代座

八千代座は山鹿市役所近くの豊前街道沿いにあります。明治時代の米問屋や造り酒屋などの経営者(旦那衆)が出資して、町のさらなる繁栄を目指して造られました。

明治43年の建設以来、歌舞伎を始め浪花節などさまざまな催しが行われ、住民に親しまれてきました。しかし、テレビの普及などで次第に公演も少なくなり、昭和40年代後

半には閉鎖してしまいました。その後、建物は雨漏りなどが進み、廃屋状態となりました。解体される危機を迎えました。それを救ったのが市民の保存運動でした。老人会による「瓦一枚運動」という募金活動などが進められ、八千代座は文化財として保存されることが決定。昭和63年に国の重要文化財に指定され、再び息を吹き返したのです。

平成8年から13年には「平成の大修理」が行われ、八千代座が最も繁栄した大正12年の華やかな姿に復元されました。現在も坂東玉三郎さんをはじめ、著名な歌舞伎役者などの公演のほか、市民のコンサートや発表会など、多くの人に利用されています。また、公演が無いときは内部を公開し、多くの見学者から好評を得ています。

(担当：山鹿市社会教育課)

### イベント情報

■玉名市神楽フェスティバル  
玉名市内の神楽が一堂に披露されます。

とき 11月3日(土)  
午後5時半～9時

※雨天中止  
ところ 玉名市立願寺公園

問い合わせ先  
玉名市文化課

☎ 0968(75)1136

### ■山太郎祭

山太郎ガニを味わうお祭りです。

とき 11月18日(日)

午前9時～午後3時

※小雨決行

ところ 道の駅きくすい特設会場(和水町)

問い合わせ先

和水町商工観光課

☎ 0968(86)5725

(担当：山鹿市社会教育課)

